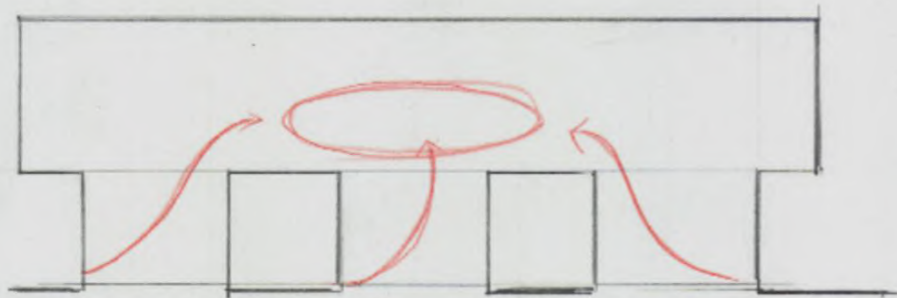


# 「ながーい家」

シェアハウスということで共用空間が生まれる。ここで私は、住宅が地域に閉鎖されるものになるのではなく、住宅内部でコミュニティが生まれるような形を考えた。

個人の部屋空間は閉鎖されているが、共同空間への入り口とすることで共用空間がコミュニティとなり、他人(地域)とつながる事が出来ると考えこのように計画した。

## ダイアグラム



設計データ  
構造形式：RC造  
主な仕上げ：打ち放し  
居住者：留学生3人

敷地面積： 510 m<sup>2</sup>  
1階 床面積： 45 m<sup>2</sup>  
2階 床面積： 84 m<sup>2</sup>  
延べ床面積： 129 m<sup>2</sup>  
建築面積： 85.2 m<sup>2</sup>

## 設計主旨

東海道の27番目の宿場町として栄えた袋井の宿場は今も当時の区画をたもっている。そこで、気が付いたことは、当時の区画のままなので長屋が多いということ。このことから町の統一感を維持するため長屋を計画した。

